

①事業名	地域情報通信基盤整備推進交付金事業						
事業の概要	⑨事業完了日	平成19年3月31日		事業主体	宮古島市、多良間村		
	⑩総事業費	84,500,000		⑫交付金額	21,125千円		
	⑬整備対象地域	宮古島市、多良間村					
	⑮事業の内容 平成23年7月のアナログ放送終了に伴いデジタル放送に移行する必要があります。住民への啓発、デジタル化へのスムーズな移行のためには5年程度のサイマル期間が必要であり、平成18年度に自主・BS・CS放送のデジタルヘッドエンド整備によるデジタル化を行います。本事業の実施に伴い、放送の段階的なハイビジョン化及び農業チャンネル・議会中継チャンネルのVOD化を予定しています。又双方向機能の実現に伴い簡易検索機能及び視聴者参加型放送の実施に合わせて予定しており、自主放送のデジタル化に伴う地域情報化の高度化と情報格差の是正を図ります。						
⑰サービス開始日	平成19年4月1日						
⑱サービス形態	民営						
⑲契約先	宮古テレビ株式会社						
	⑳整備計画時の目標			㉑実績			
年度等	初年度	最終	H19年度末	H20年度末	H21年度末	H22年度末	H23年度末
整備地域CATV加入世帯数	12,866	12,866	11,461	11,532	11,543	11,513	11,396
デジタル放送サービス加入世帯数	500	12,866	326	608	877	1,227	1,589
加入率(%)	3.9%	100%	2.8%	5.3%	7.6%	10.7%	13.9%
㉒評価及び課題	<p>評価 本事業で整備したデジタルヘッドエンドを活用することによりデジタル放送移行への環境が整い、デジタル放送サービスの利用者はアナログ放送後も問題なくCATVを利用した情報を得る事ができる。 また、先に挙げたデジタルヘッドエンドを利用した地上波放送パススルー送信により利用者は地上デジタル放送用アンテナ設置を行わずともデジタルチューナーを利用して地上デジタル放送を視聴する事が可能となった。 ※デジアナ変換再送信も行われている為、地上波アナログ放送終了後もCATV利用者は地上波放送を受信できる環境が整っている。</p> <p>課題 CATVアナログ放送終了の平成27年3月31日以降に情報の空白が生じないように、全CATV利用者のデジタル放送サービス利用について周知を徹底する必要がある。</p>						
㉓今後の取組及び方向性	CATVのアナログ放送期限延長等を要因として、デジタル放送サービスへの変更が順調には進まなかったものの、送信側の対策はできている。 平成27年3月31日のCATVアナログ放送終了に向けて、運営者の主体的な告知等によりデジタル放送サービスへの切り替えを進める事になる。						